

日本学習社会学会第13回大会

(1) 大会期間と会場

期間 2016年9月3日(土)、4日(日)

会場 日本女子大学西生田キャンパス

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田 1-1-1

(2) 日程

各種委員会・理事会	
9月3日(土) 会場：日本女子大学西生田キャンパス A棟	
10:00～11:00	年報編集委員会〔第2会議室〕 国際交流委員会〔第3会議室〕
11:00～12:30	全国理事会〔第1会議室〕
学会大会1日目	
9月3日(土) 会場：日本女子大学西生田キャンパス B棟	
12:30～	大会参加の受付
13:00～14:30	自由研究発表 分科会Ⅰ〔26番教室〕 分科会Ⅱ〔27番教室〕 分科会Ⅲ〔36番教室〕 分科会Ⅳ〔37番教室〕
(14:30～14:45)	(休憩)
14:45～16:45	課題研究Ⅰ：多文化共生社会をめざす教育〔26番教室〕 課題研究Ⅱ：「子どもの学習権」再考〔27番教室〕
(16:45～17:00)	(休憩)
17:00～17:50	総会〔15番教室〕
(17:50～18:00)	(休憩)
18:00～19:30	情報交換会〔水田記念学生ホール(1階)〕

学会大会 2 日目	
9 月 4 日 (日) 会場：日本女子大学西生田キャンパス B 棟	
9:00～ 9:30～12:00	大会参加の受付 自由研究発表 分科会Ⅴ〔26番教室〕 分科会Ⅵ〔27番教室〕 分科会Ⅶ〔36番教室〕 分科会Ⅷ〔37番教室〕 分科会Ⅸ〔15番教室〕
12:00～13:00	(昼食休憩)
13:00～15:30	公開シンポジウム：地域と学校の協働が子どもを育む ～川崎市「地域の寺子屋事業」を事例として～ 〔15番教室〕

(3) 参加費用

一般会員	2,000 円 (正会員・臨時会員)
院生・学生会員	1,000 円 (院生・学生)
情報交換会 (懇親会)	4,000 円 (正会員・学生会員)

*公開シンポジウムのみの参加は無料です。

(4) 近隣ホテルのご案内

◇ホテルモリノ新百合丘

〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-1-1 (TEL044-953-5111)

*小田急線新百合ヶ丘駅南口前

◇小田急ホテルセンチュリー相模大野

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 3-8-1 (TEL042-767-1111)

*小田急線相模大野駅相模大野ステーションスクエア 7F～14F

*各自でご予約ください。

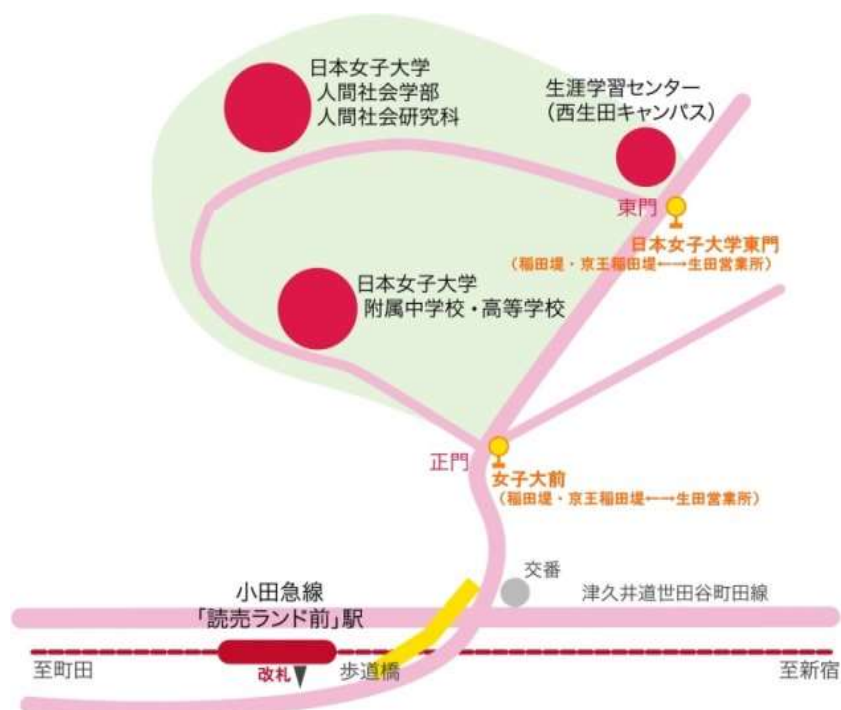
*都内に宿泊を希望される方は新宿近辺が便利です。

(5) 会場への交通機関

交 通	○小田急線「読売ランド前」駅	徒歩	大学まで 約 15 分 *緩やかな上り坂です
	○JR 南武線 「稲田堤」 駅 ○京王線「京王稲田堤」 駅 *バス停名称「城下」(「稲田堤」 駅から徒歩 10 分、「京王稲田堤」 駅から徒歩 3 分)	バス	約 12 分 *本数が少ないのでご注意ください 【小田急バス】「生田折返場」行き乗車 下車「日本女子大東門」 大学まで徒歩 5 分
	○京王線「京王よみうりランド駅」	バス	約 15 分 【小田急バス】「寺尾台団地」行き乗車 下車「女子大前」 大学まで徒歩 10 分
	○小田急線「向ヶ丘遊園」 駅	タクシー	北口(南口も可)から乗車 大学まで約 15 分 *行先指定「日本女子大学食堂前」
	○小田急線「生田」 駅	タクシー	北口の三井住友銀行正面右側に生田交通の タクシー乗り場あり 大学まで約 7 分 *行先指定「日本女子大学食堂前」

※夏休み期間中につき、学バスはありません。

日本女子大学西生田キャンパス (神奈川県川崎市多摩区西生田 1-1-1)



日本女子大学西生田キャンパスのホームページ「交通アクセス」をご参照ください。

<http://www.jwu.ac.jp/grp/access/>

自由研究発表 I

家庭教育

26番教室

9月3日(土) 13:00~14:30

司会 浅野 秀重 (金沢大学)

【1】13:00~13:40

家庭教育と親子関係に関する調査研究(1)

—保護者・教職員調査から—

- 佐藤 晴雄 (日本大学)
- 高橋 興 (青森中央学院大学)
- 堀井 啓幸 (常葉大学)
- 栗原 幸正 (茅ヶ崎市立浜須賀小学校)
- 窪 和広 (日本大学人文科学研究所)

【2】13:40~14:20

家庭教育と親子関係に関する調査研究(2)

—児童生徒調査から—

- 佐藤 晴雄 (日本大学)
- 高橋 興 (青森中央学院大学)
- 堀井 啓幸 (常葉大学)
- 栗原 幸正 (茅ヶ崎市立浜須賀小学校)
- 窪 和広 (日本大学人文科学研究所)

14:20~14:30 全体討議

自由研究発表Ⅱ

子ども・女性・地域

27番教室

9月3日（土）13:00～14:30

司会 中村 香（玉川大学）

【1】13:00～13:25

「子どもの学習権再考」のために
—乳幼児期からの支援を考える—

坪内 一（横浜市緑区役所）

【2】13:25～13:50

地域活動団体の教育力に関する一考察

中村 志保（東京学芸大学研究補助員）

【3】13:50～14:15

女性の学びにおける意識変容のプロセスに関する一考察

山澤 和子（日本女子大学客員）

14:15～14:30

全体討議

自由研究発表Ⅲ

高校教育・職業教育

36番教室

9月3日（土）13:00～14:30

司会 梶野 光信（東京都教育庁）

【1】13:00～13:25

過疎化に立ち向かう高等学校

永田 進（日本大学）

【2】13:25～13:50

高等学校における主権者教育への取組状況と今後の対応

梶 輝行（横浜薬科大学）

【3】13:50～14:15

国鉄工場の技能者養成について

長谷川晴道（常葉大学科目等履修生）

14:15～14:30

全体討議

自由研究発表Ⅳ

大学教育

37番教室

9月3日(土) 13:00~14:30

司会 赤尾 勝己 (関西大学)

【1】 13:00~13:25

ソーシャル系大学参加者の学習の傾向

前田 仁 (筑波大学大学院)

【2】 13:25~13:50

大学におけるアクティブラーニング推進のための学内連携体制の構築

ー「『大学は美味しい!!』フェア」参加に向けた商品開発、販売実習の実践
を手がかりにー

権田 恭子 (新潟産業大学)

【3】 13:50~14:15

大学教育における情報化・国際化に関する調査から見た一つの問題提起

○大庭 由子 (安田女子大学)

中島 正明 (安田女子大学)

14:15~14:30

全体討議

課題研究 I

多文化共生社会をめざす教育

26 番教室

9月3日（土）14:45～16:45

グローバル化が急速に進む現代世界においては複雑な国際情勢も加勢して、各国社会で異なる言語文化の背景を持つ人々が増加している。生まれた国以外の国にすむ人々の数は2013年報告（国連）で2億3200万人、異文化を持つ住人を含めつつ如何に社会の発展を成し遂げるかは各国が抱える重要テーマであり、特に、現地社会への適応、そして子どもの教育は大きな課題である。

本課題研究では多文化主義を奉じるオーストラリアと難民問題に直面するヨーロッパを取り上げ、国際移動した人々と受入れ社会が、教育を通じて如何に個人の自己実現を支援し、社会の発展に結びつけることができるのか多方面から検討し、日本の教育課題への示唆を得たい。

報告1 : Informal English learning: Two Immersion programs with Australia

(自発的英語学習 : オーストラリアとの2つのイマージョン教育)

Dat Bao (Monash University)

西山 節子 (三重県名張市立つつじが丘小学校)

報告2 : ヨーロッパにおけるムスリム移民系生徒の教育課題

見原 礼子 (長崎大学)

司会 : 江原 裕美 (帝京大学)

課題研究Ⅱ

「子どもの学習権」再考

27番教室

9月3日（土）14:45～16:45

子どもの学習権とは、狭い意味での学力向上にとどまらず、多様な学習の機会を活かした人格的な成長・発達を遂げるための権利まで含む広範な概念である。格差が広がりつつある現代社会においては、こうした学習権の保障は、様々な社会的不利益を被っている子どもたちに対してとくに配慮すべき課題となっている。

本学会の課題研究では、2014年度に子どもの貧困の問題を取り上げている。そこで本年度は、学校になじめない不登校の子どもたちや、日本語圏以外の出自をもつ子どもたちに焦点をあて、保護者を含む家族全体に対する支援、地域におけるネットワーク（つながり）が果たし得る役割など多様な観点から支援のあり方を検討する。とくに、学校と地域の連携が効果をもたらす可能性にも着目し、子どもの学習権を新しい視点からとらえ直したい。

報告1：学習権からみた学校と地域の連携

柴田 彩千子（東京学芸大学）

報告2：フリースクールにおける学び

西野 博之（NPO 法人フリースペースたまりば理事長）

報告3：マイノリティの子どもたちに対する学習権の保障

宇津木 奈美子（帝京大学）

司会：石井山 竜平（東北大学）

自由研究発表 V

社会教育

26 番教室

9 月 4 日 (日) 9:30~12:00

司会 坂内 夏子 (早稲田大学)
高橋 興 (青森中央学院大学)

【1】 9:30~9:55

社会教育職員が実践する消防団活動 (体験レポート)

堀越 幾男 (日本大学非常勤)

【2】 9:55~10:20

地域で育む学習環境

一門真土曜自学自習室サタスタ・まなび舎 Kids を通して一

大野 順子 (摂南大学)

【3】 10:20~10:45

「地域知」から構築する学習社会に関する研究

一鹿児島県垂水市協和地区「旧海潟造船所」をめぐる活動を事例として一

井手 弘人 (長崎大学)

【4】 10:45~11:10

1950 年代~70 年代における社会教育と公立図書館をめぐる議論及び見解の調査

石橋 豊之 (稚内北星学園大学)

11:10~12:00

全体討議

自由研究発表Ⅵ

ボランティア・コミュニティ

27番教室

9月4日（日）9:30～12:00

司会 川野 佐一郎（早稲田大学非常勤）
出相 泰裕（大阪教育大学）

【1】9:30～9:55

コミュニティ活動を通じた成人の学習

ー武蔵野市けやきコミュニティ協議会をケースとしてー

北澤 李奈（日本女子大学大学院）

【2】9:55～10:20

スポーツイベントボランティア活動における組織市民行動の促進要因の研究

大後 茂雄（筑波大大学院）

【3】10:20～10:45

居場所づくりを図るボランティアデザイナーの役割

長谷川ひとみ（星槎大学非常勤）

【4】10:45～11:10

子どもの遊びを支える大人たちの学び

柴田彩千子（東京学芸大学）

11:10～12:00

全体討議

自由研究発表Ⅶ

教師教育・学校と地域

36番教室

9月4日（日）9:30～12:00

司会 貝ノ瀬 滋（政策研究大学院大学）
堀井 啓幸（常葉大学）

- 【1】 9:30～9:55
小規模校における教師の研修について
宮崎 敦子（早稲田大学大学院）
- 【2】 9:55～10:20
教師の新たな学習に関する研究
－学校支援ボランティア活動に着目して－
チャクル・ムラット
（関西外国語大学短期大学部）
- 【3】 10:20～10:45
地域コーディネーターの活動の展開とその支援のあり方について
－学校支援本部事業を実施する2つの自治体の事例から－
西村 彩恵（川村学園女子大学）
- 【4】 10:45～11:10
地域とともにある学校づくりの実質化と保護者・地域住民の参画意識
－G小学校コミュニティ・スクールにおける保護者・地域住民の意識調査から－
安井 智恵（岐阜女子大学）
- 【5】 11:10～11:35
小中一貫教育校における学校統廃合後の地域づくりの取り組み
－教員のインタビュー調査を素材として－
西村 吉弘（国立教育政策研究所）

11:35～12:00 全体討議

自由研究発表Ⅷ

教員養成・国際比較

37番教室

9月4日（日）9:30～12:00

司会 玉井 康之（北海道教育大学釧路校）
関 啓子（一橋大学名誉教授）

【1】9:30～9:55

教員養成課程におけるアクティブ・ラーニング

ー日本女子大学学校教育ボランティア事業を事例としてー

藤田 清子

（元日本女子大学西生田教職支援室）

【2】9:55～10:20

地域との連携・協働を推進する教員養成 その1

渋江かさね（静岡大学）

【3】10:20～10:45

戦後日本における言語障害児教育教員養成および教師教育の歴史的変遷

田中 謙（山梨県立大学）

【4】10:45～11:10

陶行知の教育思想に関する一考察

ーマルクス主義の視点からー

張 鵬（早稲田大学大学院）

【5】11:10～11:35

ロシアにおける「社会教育機関」の特質と展開

ー「補充教育機関」を中心としてー

岩崎 正吾（早稲田大学）

11:35～12:00

全体討議

自由研究発表区

国際教育

38番教室

9月4日（日）9:30～12:00

司会 江原 裕美（帝京大学）
 笹井 宏益（国立教育政策研究所）

【1】9:30～9:55

教科学習支援における地域定住外国人支援者の学び
ー国際教室での取り組みからー

高梨 宏子（東海大学）

【2】9:55～10:20

外国とつながりのある子ども達のキャリア形成支援に関する調査報告
星野 洋美（常葉大学）

【3】10:20～11:00

国際社会で活躍する日本人に育てる
ー小学校における英語イマジネーション教育の実践と課題ー

○山口紀生（LCA国際小学校）

○天野和弘（相模原市立大野南中学校）

○金山 光一（都留文科大学）

【4】11:00～11:25

開催され始めた絵画展に見るカンボジア美術教育支援の現状
ー学校をつくる会 JHP の取り組みからー

鈴木 光男（聖隷クリストファー大学）

11:25～12:00

全体討議

公開シンポジウム

15番教室

9月4日（日）13:00～15:30

地域と学校の協働が子どもを育む

—川崎市「地域の寺子屋事業」を事例として—

2015年12月に出された中教審答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」では、従来の学校支援地域本部に変わる新しい学校・地域連携の仕組として「地域学校協働本部」を提案している。

この答申に先立ち、川崎市は2015年度から「地域の寺子屋事業」をスタートさせた。これは、毎週提供する放課後の学習支援教室と、月1回週末に開催する体験学習・世代間交流を組み合わせたものである。市民活動団体に企画・運営を委ねることによって、市民主体で地域と学校の協働を推進するための先進的な試みといえる。企画・運営は、NPO法人によるもの（NPO法人型）、地域の関係機関・住民等のネットワーク組織によるもの（地域ネットワーク型）などさまざまである。

本課題研究は、この「地域の寺子屋事業」の枠組と実際の取組み、そして課題と将来展望を考察することを通して、今後の地域学校協働のあり方を検討するものである。

報告1：川崎市「地域の寺子屋事業」の特色

片山 美緒（川崎市教育委員会事務局生涯学習推進課

地域教育・寺子屋事業推進担当係長）

報告2：NPO法人型の事例—「遊びと学びの寺子屋」（川崎市立中野島小学校）

大下 勝巳（NPO法人かわさき創造プロジェクト代表理事）

報告3：地域ネットワーク型の事例—「寺子屋すみよし」（川崎市立住吉小学校）

金田 幸子（中原区寺子屋ネットワーク）

コメンテーター：貝ノ瀬 滋

（政策研究大学院大学／内閣官房教育再生実行会議委員）

司会：田中 雅文（日本女子大学）

【日本学習社会学会第13回大会に関する連絡先】

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1

日本女子大学人間社会学部教育学科 田中雅文研究室内

日本学習社会学会第13回大会実行委員会

Tel : 044-952-6879/6870 (田中研究室、月・木・金 10:00~16:00)

090-5533-2316 (田中携帯)

E-mail : mtanaka@fc.jwu.ac.jp

* 田中研究室への連絡は7月中のみ。8月以降は田中携帯かEメールにご連絡ください。

【大会当日の昼食について】

大会当日の昼食は2日目（9月4日）のお弁当の注文のみとなります。

夏休み中で生協が営業していないため、お弁当を注文しない方は各自でご用意ください。